

競技注意事項

- 1 本大会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会要項及び競技注意事項により実施する。
- 2 競技者受付は代表者が全員のアスリートビブスとプログラムを受け取る。なお競技者受付は競技場入退場ゲートの競技場側に設置する。
- 3 ウォーミングアップについて
 - (1) ウォーミングアップは競技場内で行うこと。競技場外、公園回りでは禁止する。トラックの使用時間は8時45分までとする。なお競技中については、審判員の指示のもとにバックストレートを使用して練習が行える。
 - (2) フィールド競技の練習は競技開始前に行う。各競技場所で競技役員の指示に従うこと。
 - (3) すべての競技者は指定された場所、時間の範囲内で事故防止に努めながら万全を期して行う。
 - (4) 観客は階段・芝生観覧席での観覧とし、マーシャルは観客をグラウンドレベルには立ち入らせない。
- 4 出場競技者の招集について
 - (1) 招集所は100mスタート地点後方に設ける。
 - (2) 招集開始・完了時間はタイムテーブルに記載してある。時間厳守で本人が受付を招集所で済ませること。その際トラック種目出場者は腰ナンバー標識を招集所で受け取ること。
 - (3) 他の種目と時間が重なる時は審判員に申し出ること。
- 5 アスリートビブスは、主催者で交付したものをそのままの大きさを胸と背に確実につける。トラック競技者は写真判定装置を使用するので、競技者のショーツの右横上部に腰ナンバー標識もつけること。跳躍競技者は胸のみでも良い。
- 6 競技方法は、次のとおりとする。
 - (1) トラック競技はすべてタイムレースとする。予選は行わない。
 - (2) トラック競技の走路順とフィールド競技の試技順は、プログラム記載のとおりとする。
 - (3) 中・長距離以外のトラックレースはすべてスターティングブロックを使用する。ただし小学生は、使用したくない競技者は使わなくても良い。スタートはクラウチングスタートを原則とするが、小学生はスタンディングスタートも認める。
 - (4) スタート時は、“位置について”を「On your marks」、「用意」を「Set」と英語にて発声する。“立って”は「Stand up」を用いる。ただし小学生のスタート時は、“位置について”、“用意”、“立って”と日本語で発声する。
 - (5) 一度の不正スタートでも責任を有する競技者は、スターターにより失格させられる。ただし小学生は、同一人が2回不正スタートした場合は失格とする。
 - (6) 800mは、オープンスタートとする。
 - (7) 走り高跳びを除くフィールド競技は、3回の試技とする。
 - (8) 走り高跳びの最初の高さは、審判長の指示による。バーの上げ方は、最後の1人になるまで5cmとし、1位決定のためのバーの上げ下げは、2cmとする。
 - (9) リレーに出場するチームは、**招集完了時刻の1時間前までに**リレーオーダー用紙を招集所に提出する。(オーダー用紙は、招集所に備えてある。)
 - (10) 競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用する。
 - (11) **写真判定装置のトラブルの際は、再レースを行う。**
 - (12) スパイクのピンは全天候舗装用で9mmを超えないものを使用すること。ただし走り高跳びの場合は12mmを超えないものを使用すること。
 - (13) 靴底の最大厚さは2024年度日本陸上競技連盟陸上競技規則通りとする。
トラック種目：800m未満：20mm、800m以上：25mm フィールド種目：20mm
- 7 記録・結果について 大会当日の記録速報は右のQRコードから携帯電話、スマートフォンで見ることが出来る。なお、全競技のリザルトは後日西東京陸上競技会のホームページに掲載する。



8 表彰について

- (1) 小学生のみ表彰式を行う。表彰式は本部テント前の観覧席で行う。
- (2) 中学生・一般は表彰式を行わない。3位までに入賞した競技者は大会本部で賞状を受け取ること。
- (3) 主催者が選考した優秀競技者は大会本部で優秀賞を受け取ること。

9 その他

- (1) 競技中の事故については、主催者で応急処置をするが、その後の責任は負わないので注意すること。
- (2) 貴重品や衣類は各自が責任を持って管理し、盗難には十分注意すること。
- (3) ごみ類は、各自の責任において持ち帰ること。